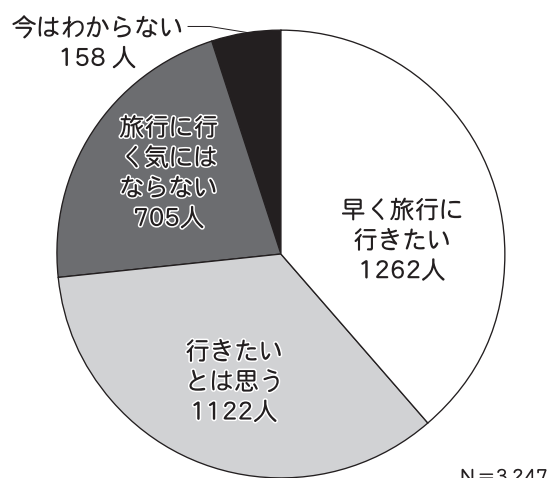


外出自粛下で7割超が旅行意欲

熊本県観光協会連絡会議「新型コロナウイルス感染症収束後の旅行・観光に関する意識調査」

旅行への意欲

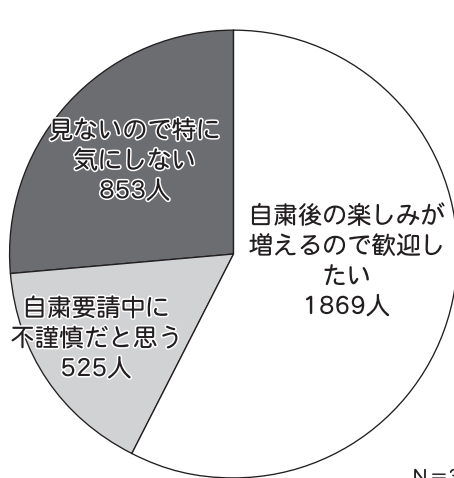
外出自粛要請が続く現在の、旅行・観光に対する意欲を教えてください



今時点で旅行に意欲を示す人が7割以上存在

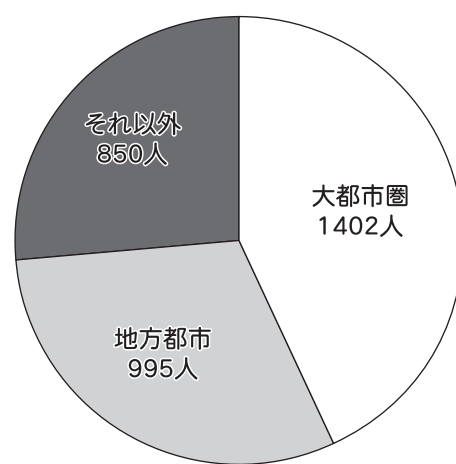
旅行情報の閲覧

外出自粛要請が続く現在の、旅行情報の視聴に対する印象を教えてください



今時点の旅行情報の視聴に半数以上が肯定的

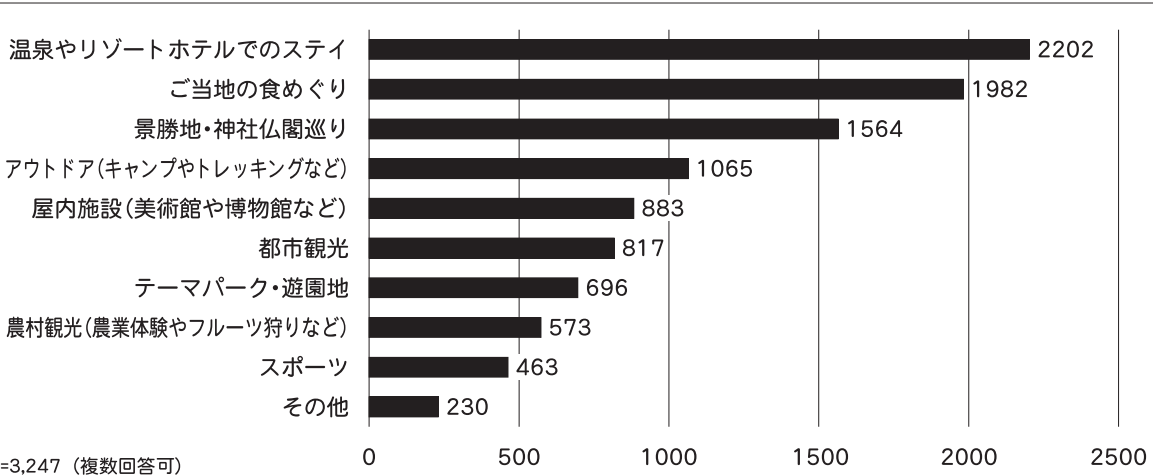
回答者の居住地区分



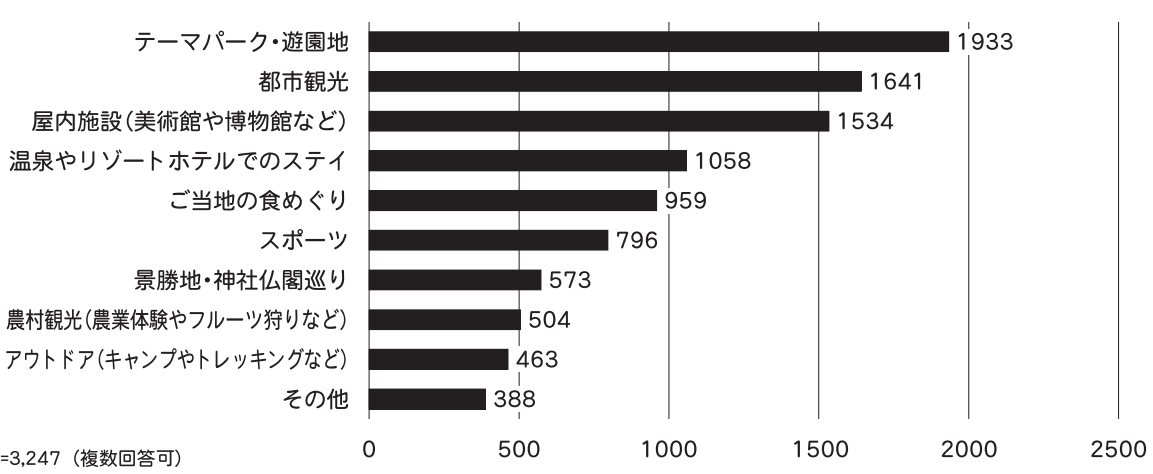
・大都市圏：首都圏、関西、名古屋、福岡など
・地方都市：各県庁所在地など
・それ以外：工業都市、農村漁村、離島など

熊本県内の観光協会が構成する熊本県観光協会連絡会議はこのほど、同会議が実施した「新型コロナウイルス感染症収束後の旅行・観光に関する意識調査」の結果を発表した。これによる外出自粛要請期間中に7割以上の人々が、旅行に行きたいと感じていることが分かった。新型コロナウイルス感染症収束後の旅行や、40代が16.6人で最も多く、以下50代が8.75人、30代が5.6人。旅行などの再開時期についての質問では、近隣エリアへの旅行は「外出自粛要請の解除後」という回答が最も多かったものの、飛行機や新幹線を利用しての国内旅行や海外旅行は「当面は控える」という回答が最も多かった。「熊本地震からの復興を経験し、事業者には現実的な見通しが必要と学んだ。本調査が全国の観光事業者の何かしらの道しるべになれば」と同会議。調査の詳細は、「コンテンツ配信サービス「note」内の同会議ページ(https://note.com/news/jn/ideaId/57460)」と閲覧可能。

収束後の旅行でやりたいこと

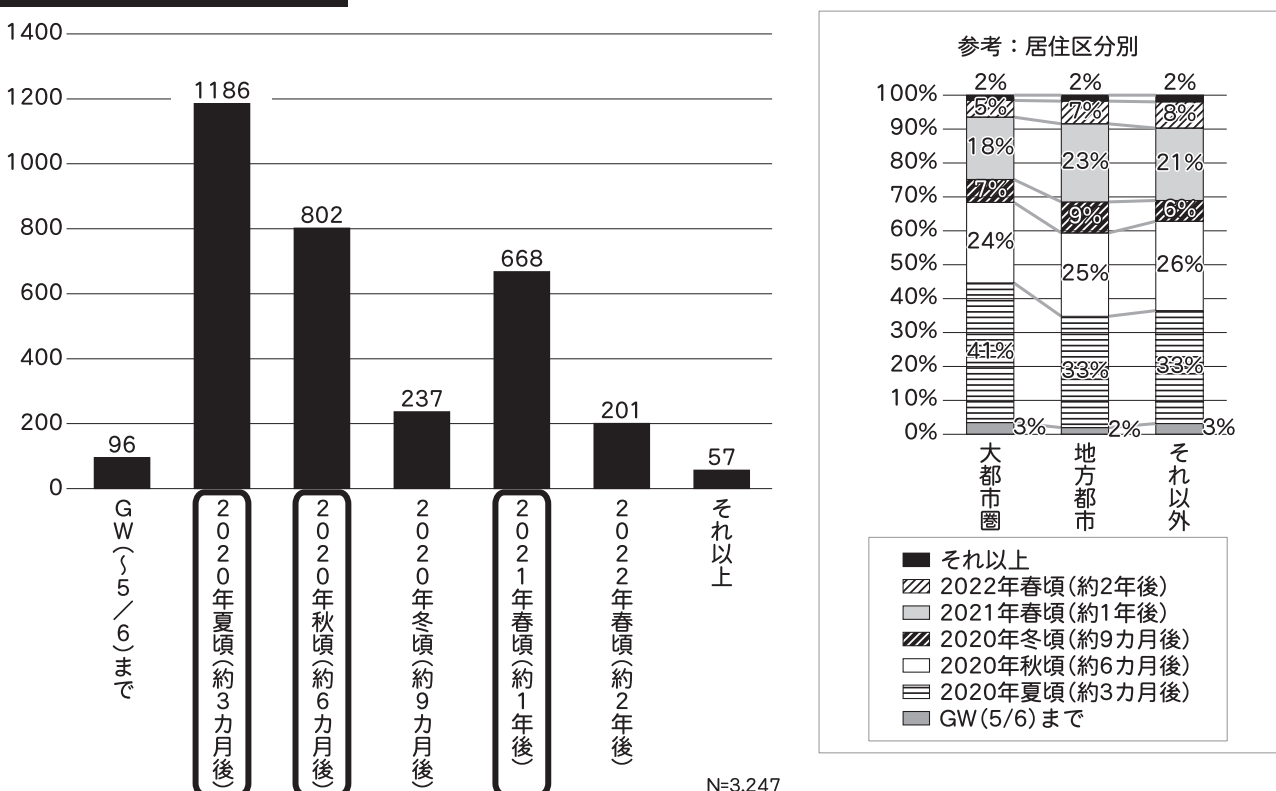


収束後の旅行で避けたいこと



開放感のあるコンテンツが好まれ、密集傾向のある場所が避けられる傾向あり

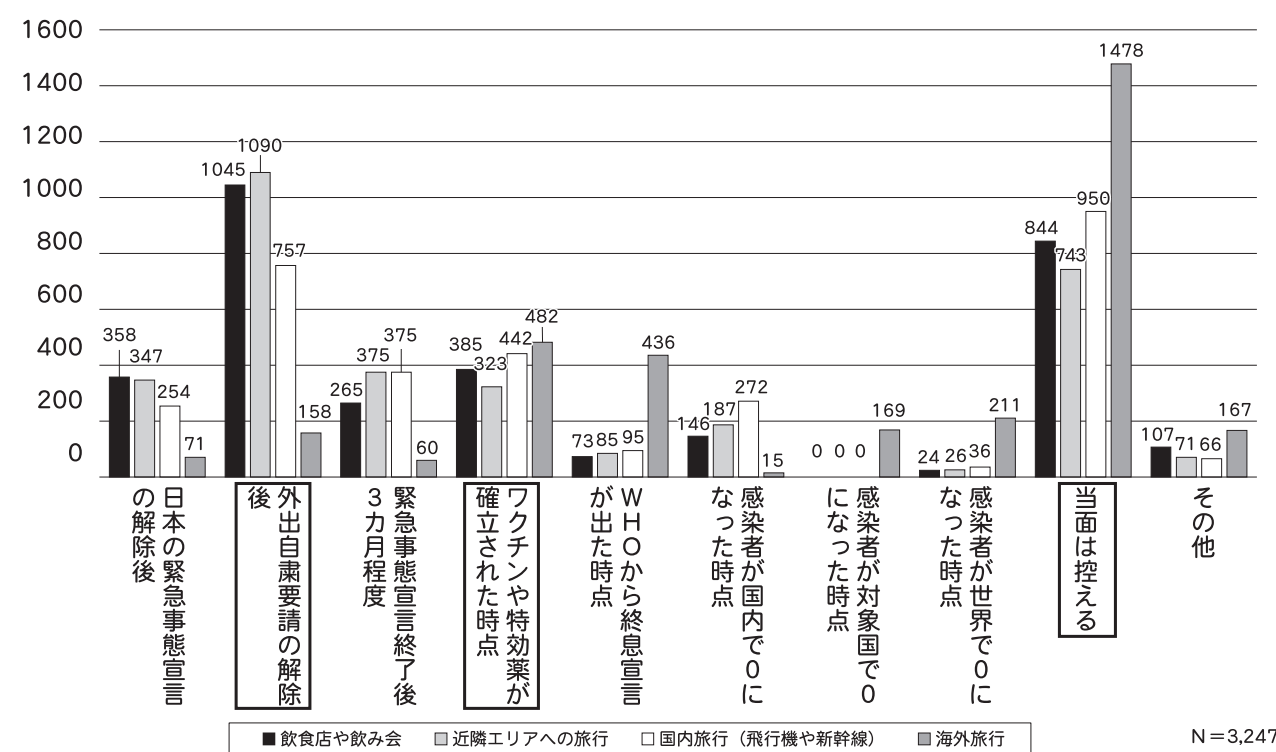
収束時期の想定



多くの消費者が、夏〜秋、または来春まで現状の自粛状況が続くことを想定している

行動(飲食店や飲み会、旅行)再開時期

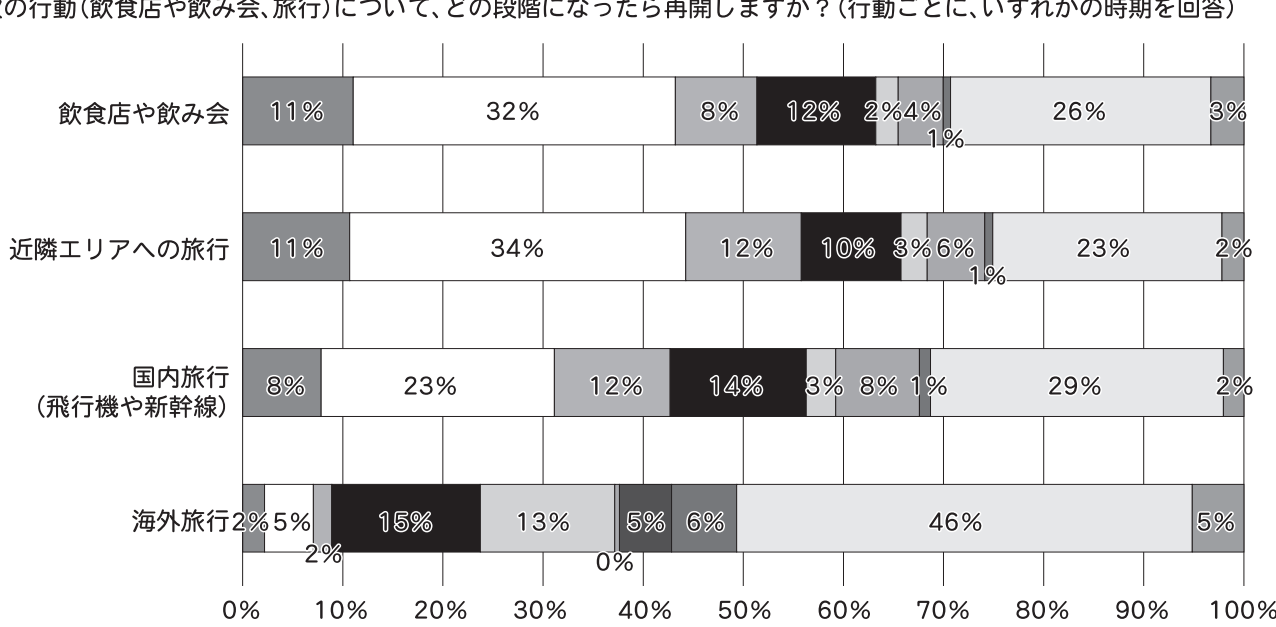
次の行動(飲食店や飲み会、旅行)について、どの段階になったら再開しますか?(行動ごとに、いずれかの時期を回答)



「外出自粛要請の解除」「ワクチンや特効薬の確立」が行動再開の契機になる(当面は控える人も多い)

行動(飲食店や飲み会、旅行)再開時期

次の行動(飲食店や飲み会、旅行)について、どの段階になったら再開しますか?(行動ごとに、いずれかの時期を回答)

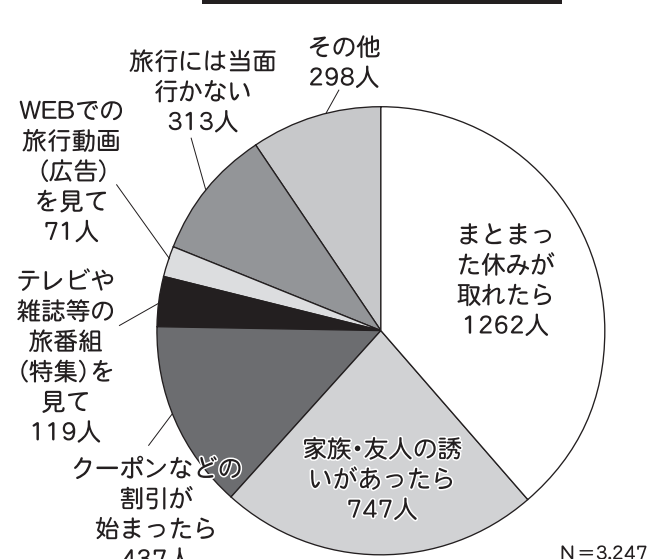


日本の緊急事態宣言の解除後 〇 外出自粛要請の解除後 〇 緊急事態宣言終了後3カ月程度 〇 ワクチンや特効薬が確立された時点 〇 WHOから終息宣言が出た時点 〇 感染者が国内で0になった時点 〇 感染者が対象国で0になった時点 〇 感染者が世界で0になった時点 〇 当面は控える 〇 その他

行動内容によって再開時期が異なり、近隣ほど早く、遠方ほど遅い傾向が見られる

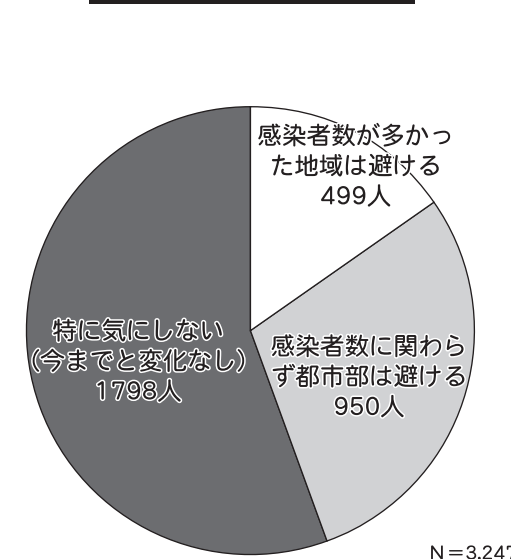
調査データ

旅行へのきっかけ



休校休業での休日不足が足かせになる可能性あり

旅行先の選び方



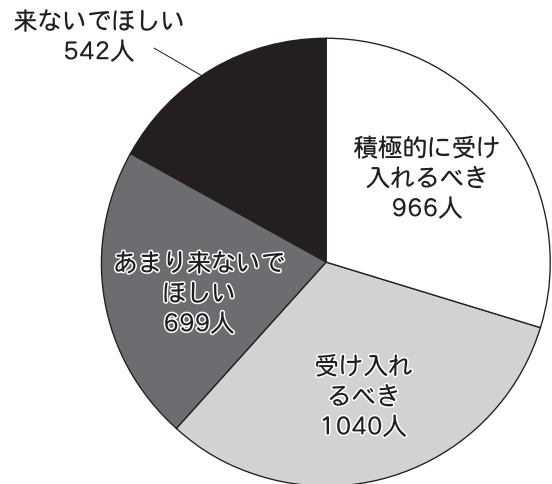
感染抑制が収束後の観光誘致にプラス的作用

旅行へのきっかけ(その他の回答例)

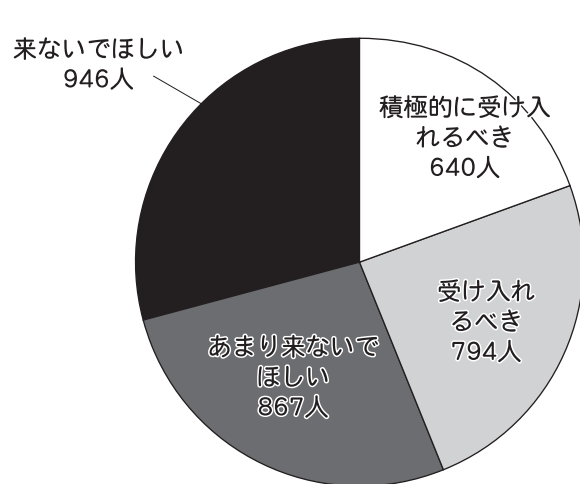
- ・きっかけがなくても行く(回答多数)
- ・収入が戻ったら(回答多数)
- ・イベント(ライブやマラソン大会、プロスポーツなど)などが再開したら(回答多数)
- ・外出自粛要請の解除など、安全が確認されたらすぐに行きたい
- ・行きたい場所の混雑が緩和され始めたら
- ・出張が再開して、移動が問題ないという風潮になってきたら

自分の地域への旅行者の受け入れ

日本人旅行者



外国人旅行者



自分の居住する地域への旅行者の受け入れは、抵抗感のある人が多い(特に外国人旅行者)